

令和5年度「市民とつくる協働のまち事業」 補助団体活動実績

5年度は、13団体へ補助金を交付しました。

○チャイルドラインかごしま

事業名：「子どもたちのこころの声に寄り添うとともに、子どもたちの声を社会に発信し生きやすいまちへ！」

【事業概要】

コロナの影響により子どもたちがストレスや寂しさ、不安を感じている現状の中で、子どもたちの悩みに寄り添い問題解決に導けるように、講演活動や電話、オンラインチャット等様々な手段を使った活動を実施する。

【活動実績】

1. 電話相談・オンラインチャット相談の実施

- (1)実施日 第1土曜日、第5土曜日はオンラインチャット実施
第4金曜日、第3土曜日は電話実施
第3金曜日は電話・オンラインチャット両方実施
- (2)件数 1030件対応(電話 634件、オンラインチャット 396件)

2. 公開講座「不登校児への総合的な対応」の開催

- (1)実施日 令和5年9月23日(土) ハイブリッド開催
- (2)参加者 会場26名、オンライン9名

3. 電話の受け手ボランティア養成講座の開催

- (1)実施日 令和5年11月～12月(全10回)
- (2)参加者 10名

4. 講演活動(講師派遣) 5件実施(市内2件)

- 講演テーマ「子どもにこころに寄り添うとは？」
「中学生・高校生・障がい児 性の現状からみえてくるもの」
「大人向け(保護者向け/教員向け)性教育」
対象：家庭教育学級・PTA・教員向けセミナー・職員研修・少人数の勉強会など

○栄縁

事業名：「栄養士・管理栄養士が地域住民の架け橋となる団体構築」

【事業概要】

食と栄養の面から地域住民の生活の質を向上させるため、親子クッキング教室や高齢者への食支援として、嚥下食専門講師を招いた料理教室を開催する。

また、食と栄養を学ぶことができる地域交流イベントの開催も行う。

【活動実績】

1. なつやすみ親子クッキングの開催

(1)実施日 令和5年8月26日(土) 午前・午後2回

(2)参加者 49名(大人21名、子ども28名)

2. 家庭でできるやさしいソフト食料理教室の開催

(1)実施日 令和5年5月24日(水)

令和5年12月15日(金)

(2)参加者 32名(5月8名、12月24名)

3. 地域交流イベントの開催

(1)実施日 令和6年3月30日(土)

(2)参加者 10組24名

(3)内 容 地元の生産者を招き、地元の食材(もち米)を使った「もちつき」交流会。食育の話やクイズを交えながら生産者の想いや、食べる楽しみを体感してもらった。

○楽交楽皇

事業名：「皇徳寺団地を中心とした地域活性化に関する事業」

【事業概要】

少子高齢化や共働き世帯の増加、コロナ禍でのPTAや地域活動の縮小により、校区内の交流の機会が減少しているため、子育て世代から高齢者の方まで幅広い世代が集う空間をつくり地域住民が交流できるマルシェを開催する。普段接する機会が少ない異世代交流の場を提供することで、新しい繋がりや地域住民の趣味交流の輪を広げていく。

【活動実績】

1. らっこうマルシェ・青空ステージの開催

(1)実施日 令和5年5月13日(土)

令和5年9月24日(日)

(2)内容 マルシェではキッチンカーを誘致したり、体験コーナーを創出したりすることで幅広い世代が集う空間をつくり、青空コンサートでは地域住民が特技や趣味を発表した。5月は雨天のなか200～300人程度、9月は600人以上の集客があった。

○こだち

事業名：「心とからだを育てる発達支援プロジェクト」

【事業概要】

こどもの発達の課題に対して有効的な遊びや運動について知り、家庭や現場で取り組める発達支援の方法について学ぶ講座を開催する。

【活動実績】

1. 講座「パニック対応と予防のための護道・支援介助法」の開催

(1)実施日 令和5年5月14日(日)

(2)参加者 27名

(3)内容 障害のある子どもたちや大人のパニックの仕組みについて、事前動画に動画を視聴した上で、実際のパニック対応のための身体やイメージの使い方、不快感を与えない距離のとり方などについての体験を含めた学習

2. 講座「あそびで育てる子どもの発達！」の開催

(1)実施日 令和5年10月21日(土)

(2)参加者 31名(うち子ども6名)、個別相談10組

(3)内容 ハイハイやずり這いなどの発達に必要な運動が足りないことで起こる発達への影響や、後から埋め合わせていくために子どもたちと一緒に取り組める遊びについての体験を含めた学習

○coconowa

事業名：「医療的ケア児・病児・障がい児の母親のコミュニティ創出事業」

【事業概要】

鹿児島市内に在住の医療的ケア児、病児、障がい児を育てる家族がつながることができる交流会を保健師や行政と協働して実施する。

また、地域の企業と連携し、子育てサロンを実施する。

【活動実績】

1. オンライン交流会の開催

	テーマ	開催日	参加人数（人）
1	茶話会	4/24	6
2	就園・就学について	8/8	3
3	茶話会	10/24	6
4	2024年にやってみたいこと	2/19	7

2. 対面交流会の開催

	テーマ	開催日	参加人数（人）
1	手当や手帳について	4/12	21
2	手当や手帳について	5/18	19
3	就園・就学について	7/12	14
4	就園・就学について	8/17	9
5	ロゼット作り、座談会	10/11	6
6	リフレクソロジーと親子ふれあいマッサージ、座談会	11/9	16

3. オンラインワークショップ（麹調味料作り）

- (1)実施日 令和5年9月11日（月）
- (2)参加者 3名

○郡山SDGs

事業名：「ようこそ こいぬやま お宝袋事業」

【事業概要】

人口減少が進む郡山地域を、魅力あるまちにするために、転入世帯へ郡山地域の情報や郡山地域の店舗のお得なクーポン等が詰まった「お宝袋」等を配付し、転入者と地元民の交流会を開催する。また、大学生や高校生とコラボして郡山の特産品を開発する。

【活動実績】

1. 新住民へお花とお宝袋とメッセージカードの配布

- (1)配布世帯数 49世帯

2. 特産品開発協議

郡山をイメージできる特産品を開発するため、学校と協議

(1)実施日 令和6年1月26日(金)

○特定非営利活動法人薩摩ROCK・CLUB

事業名：「地域の障がい者が音楽を通じて生きがいを見つける事業」

【事業概要】

障がい者が音楽を通じて喜びを分かち合い楽しむ機会を増やし、その発表の場として、地域の障がい者や団体で、歌や演奏の発表の催しを開催する。また、音楽イベントのステージに合わせて出品物のブースを設けたり、フリーマーケットを同時開催し、一般の方・障がい者同士の交流ができる機会を設け、健常者と障がい者の壁を少しでも無くし、お互いがより良い地域環境・住みやすい環境作りを促す。

【活動実績】

1. 音楽イベントの開催

(1)実施日 令和5年7月8日(土)

(2)参加者 7団体約60名(一般来場者除く)

○中名ほたる同好会

事業名：「中名ボタル」育成事業」

【事業概要】

「ゲンジボタル」を「中名ボタル」と命名し、採卵から幼虫育成までを行い、生育場所を整備(休耕田を活用)することで、ゲンジボタルの種の保存や鹿児島市の環境改善を図る。

また、蛍を地域住民や児童と共に育成することで、自然環境の大切さを学ぶ機会をつくとともに地域の活性化を図る。

【活動実績】

1. ボタルの鑑賞会

(1)実施日 令和5年5月4日(木)～15日(月)

(2)参加者 多い日で30人前後

2. ボタルの成虫捕獲・養殖等の実施

①ボタル成虫の捕獲 30匹

②産卵・孵化・飼育 30匹

3. 幼虫放流及び講演会

(1)実施日 令和5年11月3日(金)

(2)参加者 46名

4. ホタル池及び水路等の維持管理(随時)

○Enjoy! 転勤ライフ

事業名:「転入者が安心して鹿児島生活がおくれるコミュニティを作る事業」

【事業概要】

鹿児島市に転勤等のため移住してきた女性が安心して鹿児島市で暮らすことができるように、同じ立場の人と交流できる「転勤カフェ」を開催する。また、転勤前に鹿児島の情報を入手できるよう、情報発信業務を行う。家族の転勤と同時に仕事を辞める女性も少なくないため、ワークショップ等を開催し、活躍の場をつくり、転勤者のキャリア形成や女性活躍を促進する。

【活動実績】

1. 転勤カフェ「転勤さんいらっしゃーい」の開催

(1)実施日 令和5年6月30日(金)

(2)参加者 10名

2. キャリアデザインワークショップ

	テーマ	開催日	参加人数 (人)
1	自分で作れる! 鹿児島郷土料理	7/4	9
2	鹿児島の魚をおいしく食べよう	10/16	7
3	カラーセラピーワークショップ~わたしらしさを感じるコラージュ~	12/5	5
4	レザータッセルレッスン	2/22	8

3. 県外目線からの鹿児島に関する情報発信

ブログ、インスタグラム、フェイスブック 合計100記事以上

○特定非営利活動法人メッセンジャーナースかごしま

事業名：「地域における看護の拠点づくり事業」

【事業概要】

メッセンジャーナースの実施及び周知・広報活動や市民公開講座の開催を行う。また、地域住民の心身の健康や子育て、介護などさまざまな不安や悩みをゆっくり語れる「てらの保健室」を月1回開催する。

【活動実績】

1. メッセンジャーナース事業の実施

※メッセンジャーナース

看護師として10年以上勤務し、研修を受け協会が認定する民間資格。患者の受診や医師の説明の場などに付き添い、患者の気持ちに寄り添いながら専門的に助言し、意思決定を支援する。

2. てらの保健室の開催

- (1)実施日 令和5年6月～11月、令和6年1～3月（月1回 開催）
- (2)参加者 119名

3. 市民公開講座「第2回住み慣れた地域で生きるを考える市民の集い」の開催

- (1)実施日 令和6年1月20日（土）
- (2)参加者 60名

○特定非営利活動法人 SAKI

事業名：「生活困窮者生活備品支援事業」

【事業概要】

地域住民の不用になったがまだ使用できる品物の寄付を募り、生活困窮者や店舗での購入、搬入が困難な独居暮らしの高齢者などに寄付を行う。

【活動実績】

随時寄付を募り、集まった冷蔵庫や洗濯機などの家電製品や食器棚などを、生活困窮者の方に月1回寄付を実施

○学校法人鹿児島大谷学園

事業名：「フリースペース大谷 子ども・保護者に向けた生活・学習・子育て支援」

【事業概要】

様々な事情により学校に行けない、あるいは家庭以外に安心できる場所のない子どもたちが、少しでも安心して人と関わることができるためのフリースペースを設け、そこで子どもたちに様々な生活体験・満足体験をしよう。

また、不登校児を抱える保護者は、子育てに対する不安や孤独感を抱えていることが多いため、講師を呼んで保護者向けの学習会や茶話会のような場を設ける。

【活動実績】

	テーマ	開催日	参加人数 (人)
1	子ども向けワークショップ 「アイシングクッキーづくり」	5/22	16
2	保護者向け講座 「居心地感ってすごいんです～保育・教育にも居心地感を～」	6/14	13
3	子ども・保護者向け講座 「助産師が伝えるいのちの出前講座」	9/6	22
4	子ども向けワークショップ 「レジンアクセサリーづくり」	10/23	13
5	子ども向けワークショップ 「東川隆太郎さんに行く、天文館散策ツアー」	11/8	9
6	子ども向けワークショップ 「ピザづくり体験」	12/11	10

○一般社団法人 folklore forest

事業名：「Art Meets ふるさと」

【事業概要】

人口減少地域の桜島で豊かな暮らしや地域発展を裏支えするために、旧改新小学校にアーティストを約2カ月間ほど滞在させ、地域住民と協働しながら制作活動を行う。

【活動実績】

滞在アーティスト：井上 唯氏

滞 在 期 間 ： 1月19日～3月19日

制 作 作 品 ： 平屋サイズの竹やかやを編んで作成した桜島を燃やすもの。大正噴火の記録写真と砂防工事を見て感じた、「人は自然に抗い生きる、だが大きな自然を前に人は立ちすくむことしかできない」ことを表現。

作品の資材である竹刈り、竹編みなどはボランティアの協力を得ながら作品を制作し、3月16日に作品披露会を行い、作品に点火した。作品作りを軸にして島民と島外住民の交流が促進された。

また、1月27日のさくら市で、アーティストのコンテンツであるワイヤーを編んで作成する「旅するきのこ」をつくるワークショップも開催した。